



12月 行事予定

- 1日(木) 発表会予行
- 10日(土) 発表会
- 14日(水) おはなし会
- 19日(月) 避難訓練
- 23日(金) 誕生会
- 29日(木)～1/3(火) 休園
- 30日(金) 12月利用料引落日



1月 行事予定

- 12/29(木)～1/3日(火) 休園
- 9日(月・祝日) 成人の日
- 11日(水) もちつき
- 13日(金) 誕生会
- 18日(水) おはなし会
- 26日(木) 避難訓練
- 31日(月) 1月利用料等引落日

※コロナウイルス感染症の拡大により、行事が中止になる場合もあります。ご了承ください。

11月の行事報告『焼き芋パーティー』

保育園の畑で育てたさつまいもを収穫し、みんなで焼き芋パーティーを楽しみました。落ち葉を集めたりさつまいもをアルミホイルで包んだり準備から子どもたちと一緒に協力して行いました。出来立ての焼き芋はホクホクで甘く「おかわり！」の声がたくさん聞こえてきました。



さくらんぼ保育園を ちのちもいてみよへう

『縁の下の力もち』

さくらんぼ保育園には現在5名の補助員が勤務をしています。

こどもの生活やあそびの補助、園内の掃除・洗濯・花壇の手入れ・給食の配膳・草抜きなどを行っています。

保護者の皆さんとは、お会いする機会が少ないかもしれませんが、さくらんぼ保育園の縁の下の力持ちとして、園を支えています。



さくらんぼ通信



令和4年12月1日(木)発行
さくらんぼ保育園 園だより
桜が丘東2-2-809
Tel 995-9071
Fax 995-9072



さくらんぼ保育園 園だより No.263

『季節を感じること』

園庭の木々の葉が緑色からオレンジ色や赤色に変化し、紅葉の見ごろを迎えていましたが、あっという間に園庭には落ち葉の絨毯が広がっています。自宅からさくらんぼ保育園までの道中にもたくさんのお木や畑などがあり、稲や柿、コスモス、ススキなどの植物を見ることができ、季節の変化を感じながら通勤しています。

みなさんは、秋といえばと聞かれると何を思い浮かべますか？秋といえば、食欲の秋。さつまいも、さんま、柿、新米など食べることが好きな私は秋の味覚をついつい思い浮かべてしまいます。

先日、給食に今が旬のさんまが出ました。普段の給食の魚は、切り身の状態を提供していますが、その日は子どもたちと一尾のさんまを見たり、触れたりして旬のおいしさを味わいました。ですが、年々と気候の変動により、さんま漁獲量が減少しているとニュース等で報道されているのを見ると、さんまに関わらずその他の旬の食材も食べることができなくなってしまうのではないかと心配になります。

保育園の給食は、旬の食材を取り入れて季節のおいしさを感じることができるようにしています。その時期ならではの魅力や季節の美しさがあるということを子どもたちが給食や動植物等を通してたくさん触れる中で、四季折々の楽しさを身体全体で感じてほしいと思います。

廣田 悠喜

つばやき・エピソード にじ組



大きいクラスの友だちが掘ったさつまいもを見て一言。

Aさん「見て！お相撲さんみたい」

大きなさつまいもを見て、お相撲さんの立派なお尻に見えたようです。子どもたちの観察力に“なるほど”と驚かされる毎日です。

そらぐみ



難しいルールも理解できるようになり、新しいあそびをどんどん楽しんでいきます。最近ドッジボールに夢中のそら組。始めたばかりの頃はそれぞれにルールの思い違いがありました。そんな時でも子どもたち発信で「一回ストップ」とその場を止め、みんなで話し合いの場がもたれ、考えている姿が見られます。大人が介入しなくても友だちのことを思った行動や発言ができる姿に感心しています。

はなぐみ



戸外で過ごしていると「Bちゃん、葉っぱあげる」と他クラスの子どもたちがフウの葉の束を持ってきました。それだけではなく、葉っぱを揺らして音を鳴らしたり「まだいる？もっと取ってくるから、待っててね」と急いでたくさん葉っぱを集めたりしていました。他クラスの友だちの優しさにより、楽しいひと時を過ごしたBさんでした。

ゆきぐみ



子どもと保育者でしていたおひるねごっこが子ども同士で始まりました。布団をかけられることをじっと見つめて待っているCさん。そこへ「どうぞ」と布をかけるDさん。何枚もかけていたので、Cさんは温かくなったようです。「したい」「してほしい」が伝わってきた瞬間でした。

保育目標

- 一人ひとりの子どもを見つめ、集団生活を通して
 - 友だちを大切に、共に育ち合う子
 - 生き生きとした元気な子
 - 自分で考え行動する子
- を育てる

子どもたち一人ひとりがいきいきと過ごすには、土台として「あたたかい人間関係」が必要となります。保育者や友だちとの日々のかかわりの中で人間関係が築かれ、安心して過ごせるあたたかい場所でありたいです。

今月のテーマ

保育者や友だちと一緒に

ほしぐみ



朝や夕方など好きなあそびをする時間に助け鬼を楽しんでいます。鬼は捕まえて終わりではなく、つかまった子が助けられて復活しないように守ったり、逃げる方は自分が逃げながら、どうすれば仲間が助けられるか考えたりします。子どもたち同士で作戦を考えながら楽しんでいます。

ゆきぐみ



集まりの時『おおきなかぶ』のミニパネルシアターをみました。ある日、木の根っこに躓いて転びそうになった友だちをみて「この根っこ、おおきなかぶみたいに引っ張ったらと取れるかな？」と言い1人が引っ張り始めました。その様子を見ていた他の子も集まってきて、みんなで引っ張ってみました。根っこは抜けませんでしたが、みんなで見た話を共有して楽しんでいる子どもたちです。

にじぐみ



発表会用の舞台の上に立つと、なんだかワクワクするね。少し緊張することもあるけれど、友だちや保育者と“楽しい”を共有することで、安心にも繋がっているようです。